



# 大規模改修工事で

# 生まれ変わる学校施設

問合せ  
公共財産保全課  
☎ 983・2641  
教育総務課  
☎ 983・2669

以前であれば建て替えが主流であった公共施設の更新ですが、長期的な視点での財政負担軽減のため、計画的な維持保全によって長寿命化を図っています。今回の学校施設の改修については、日々学校施設を利用する児童たちに、施設を長持ちさせることに興味を持ってもらい、これからも大切に使用してもらえるよう、児童自身に設計プランの選定作業の一部に参加してもらいました。

## 児童が投票で昇降口のデザインを決定！

長伏小学校・向山小学校で、「学校を長く大切に使い続けていくことの必要性」を題材とした、市職員による出前講座を実施しました。

### 長く使い続ける 必要性を説明

1 学校を長持ちさせる大切さを知ってもらいます



### デザイン案を 提示

2 昇降口の3つのデザイン案を児童に提示します



### 児童による 投票

3 児童自身が、良いと思った案に投票をします



1 番多く票を獲得したデザインを再現！

## 投票で選ばれた昇降口が完成！

8月、長伏小学校の昇降口が完成し、夏休みを終えた児童たちが新しくなった学校に登校しました。向山小学校では、現在改修工事が進行中です。

Before



改修前

外観



改修後

After

(長伏小学校)

Before



改修前

内観



改修後

After

(長伏小学校)

完成した昇降口を  
児童自身で確認！



児童たちの  
声

自分たちが選んだので、  
きれいに使っていきたい

木がたくさん使ってあって  
あたたかい感じがする

# 外国人と日本人が互いに歩み寄る

～「やさしい日本語」～ ⑩ 国際交流室 ☎ 983・2645

## やさしい日本語とは？

1995年の阪神・淡路大震災で多くの外国人が、日本語が壁となり適切な行動を取れず被害を受けたことがきっかけで考案された「外国人にもわかるよう配慮した簡単な日本語のこと」です。

市内では、50以上の国・地域から来た外国人市民が1,458人（7月末現在）生活しており、全ての言語で対応することが難しい中、「やさしい日本語」の使用が鍵となっています。

## 言い換えてみよう！

ご出身はどちらですか？

→ **どこの国から** 来ましたか？

電車は運転を見合わせています

→ **電車は** 今動いていません

メモをとってください

→ **書いて** ください

「やさしい日本語」から、まちの人たちのつながりの輪が広がっています

## 学校の現場で

外国人の中には、家族で三島に引っ越してくる人もいます。市内の小中学校に在籍する外国籍や外国にルーツを持つ子どもも増えていることから、「やさしい日本語研修」を実施し、児童や家族に寄り添った支援をしています。



▲外国人児童に寄り添った授業

「参加した先生の声 / 「学校からのお便りは簡潔に伝えていきます」「外国人児童に『やさしい日本語』を心掛けたいです」

## 地域で役立つ

近年、町内の外国人住民が増え、かつ多国籍化する傾向にあります。文化の違いを背景にトラブルが発生しやすくなっています。

これを踏まえ秋山さんは、「日本のルールや情報を伝えるために全ての言語を学ぶには限界があると感じ、同時に在住1年以上の外国人住民は簡単な日本語ならわかると気がつきました」と話し、現在は「やさしい日本語」を活用しながら外国人住民と交流しています。



秋山孝史さん  
つみカフェ安久代



▲「ごみの出し方(やさしい日本語版)」を参考にするベトナム籍ハーさん

## 外国人社員に伝える

市内にある国際総合技能育成協会には現在、インドネシア、ベトナム、中国、タイ、ミャンマーの5つの国から技能実習生約250人が所属しています。多くの実習生は初めての海外生活や仕事など未経験なことが多くあり、不安になりがちです。日々の生活に慣れ、円滑に実習や研修を進めるためには、「やさしい日本語」を活用することが不可欠です。

難しい言葉を簡単な言葉（知っている言葉）に言い換え、「ゆっくり・はっきり」話すなどの工夫をすることで、実習生にとってわかりやすくなり、聞き取れる実習生も増えていきます。



▲研修中の様子

## 研修終了直後の実習生に今後の抱負を聞きました

インドリーさん



ヨガさん



インドネシアで約5カ月、日本語を勉強した後に来日。来日後、協会の研修センターで1カ月、生活指導員と実習指導員による日本のルールやマナーについて勉強をしました。これから、さらに日本語を勉強し、仕事もたくさん覚えて頑張ります。